

避難訓練実施計画

2024.9.18

1 目的

- (1) 授業中に震度6強の地震が発生したという想定のもと、児童を安全・迅速に誘導するとともに、児童自身が安全に避難できる能力や態度を身につける。
- (2) 地震や津波に対する意識を高め、冷静、沈着、安全、機敏、協力など災害時の行動に大切な心構えを養う。

2 期日 10月30日(水) 避難訓練 9:30~10:15 (2校時) (雨天: 11月1日(金) 同時刻)

3 実施要綱 地震発生及び津波発生による避難訓練

(1) 放送による状況説明・・・係(教頭)

「これから避難訓練を始めます。ただ今、宮崎県日向灘で震度6強の地震が発生しました。先生の指示に従って避難してください。」…机の下にもぐり、頭や体を守る。

【担任(授業者)】

- 余震のおそれがなくなるまで、机の下にもぐらせ、頭や体を守らせる。
- 担任(授業者)は、廊下側のドアや窓を開け、出口の確保をしてから、机などの下にもぐる。

<30秒後>

【放送(教頭)】

「地震がおさまりました。この後、先生の指示に従って運動場に避難しましょう。」
大きな地震のため、建物から離れ運動場に集合する。

(2) 運動場(工事で使えない場合は体育館前のロータリー) →移動して点呼、報告

◇児童には、荷物を持たせない。

頭部保護のため赤白帽子をかぶらせる。

◇担任(授業者)は、順路に従って安全に児童を誘導する。

※支援員は列の最後尾に

◇担任(授業者)は、避難終了後直ちに点呼。

○学年、組毎に整列、腰をおろす。

○授業者は、人数確認の後、【本部】教頭へ報告

「○年○組 ○名中 ○名欠席。 ○名、全員避難しました。」

○避難集合場所及び時間の確認。

避難時の見守りが必要な場所

- ・2階階段(1・2・5・6年)
- ・運動場の階段

避難時の残留児童・避難場所確認 (プレイルーム・トイレ等)

- ・2階→小野先生
- ・3階→橋永先生

(3) 津波警報が発令したため、校舎(児童棟)の3階に避難する。

(教頭)

「津波警報が発令したため、校舎に避難します。」

○3・4・5年生は西側玄関から、1・2・6年生は東側玄関から3階に移動

(4) 体育館に移動

○校長先生の話

○消防署の方の話

- ・津波にそなえて高所へ避難すること
- ・屋外や学校外にいる時に地震が起きたとき

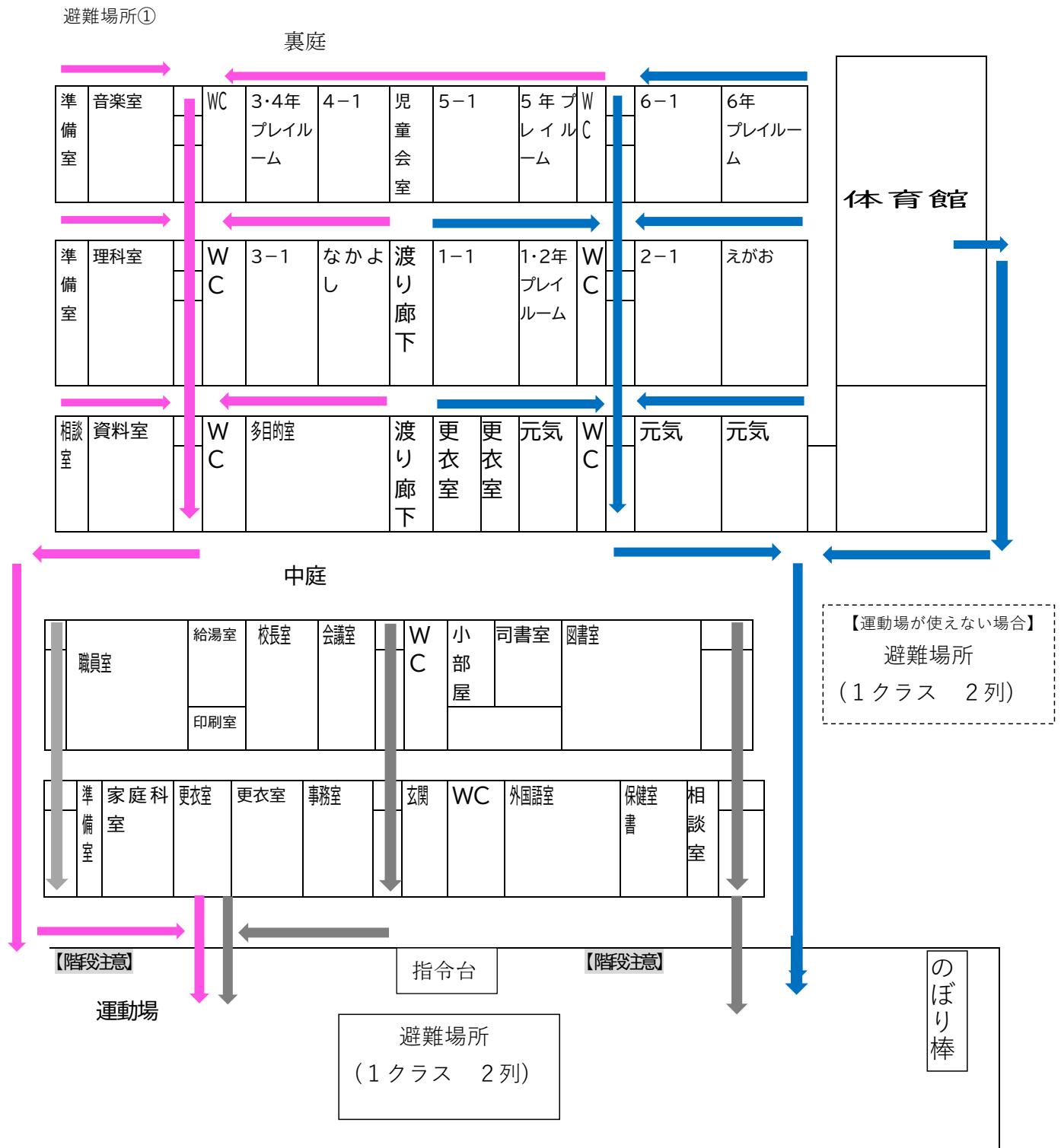
4 事前指導

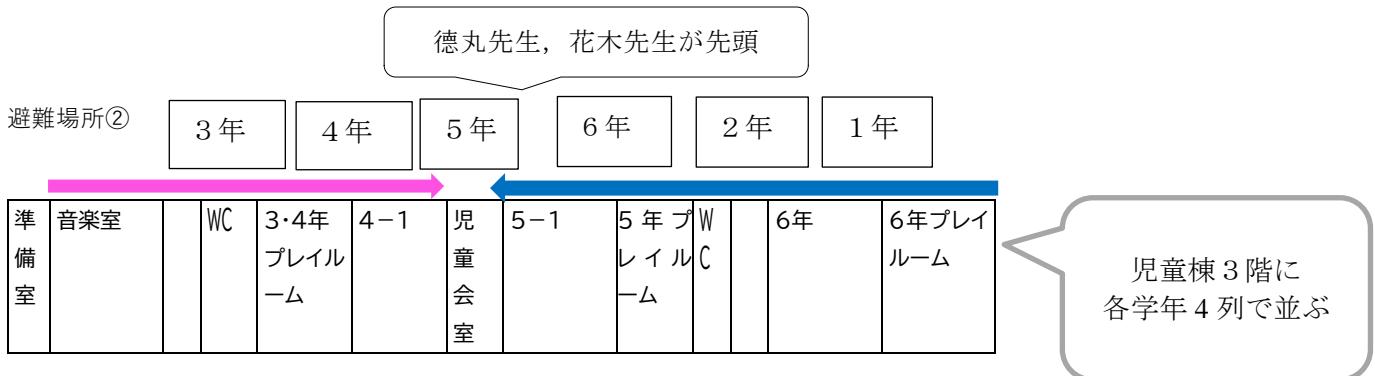
- 地震が起きたときの避難の仕方を知らせる。
 - ・余震がおさまるまで、机やテーブルの下にもぐって頭や体を守る。
 - ・ドア・窓をあけ、出口を確保しておく。
- 津波発生時は上に逃げることを確認しておく。（3階に移動する。）
- おはしも・・・おさない・はしない・しゃべらない・もどらない の徹底
- 津波の映像を見る（学級の実態に合わせて）

5 事後指導

事前指導、体育館での講話の内容を理解できたかを各学級で振り返る。

【避難順路】





避難場所③

ス テ 一 ジ

教職員イス	6年	1年	3年	4年	2年	5年
	※ 1・6年は交互に並ぶ			※ 2・5年は交互に並ぶ		

集会と同じ並び